



令和6年度 ヨコハマ市民まち普請事業 5つの施設整備提案を助成対象に決定！ ～市民による身近なまちづくりのアイデア決定～



横浜市では、市民の皆様が主体となって行う、地域の課題解決や魅力向上のための施設整備の提案に対して、支援・助成を行う「ヨコハマ市民まち普請事業」を実施しています。

令和7年1月26日(日)に「令和6年度ヨコハマ市民まち普請事業2次コンテスト」を開催し、創意工夫・実現性・公共性・費用対効果・地域まちづくりへの発展性の5つの基準での公開審査の結果、**5つの提案が整備助成対象に選考されました！**

今後、グループ自らの整備により、まちづくりの提案を具現化していきます。

<2次コンテストの様子>



緊張感溢れるプレゼンテーション



審査員との質疑応答



結果発表

整備助成対象に選考された5つの提案

【いの池を中心とした地域資源循環システムの再生と維持】 師岡熊野神社「いの池」愛護会(港北区)

地域の人々がかい堀りや清掃により守り、大切にしてきた「いの池」の水環境を改善するため、導水管の整備、老朽化した石積護岸の修復、活動掲示板の新設等を行う。

【審査員講評】水や土などの資源を循環させ、地域でいの池を守るこの意味についてより深く考えていただいたことが良かった。



【あおぞら広場】 あおぞら広場をつくる会(金沢区)

あおぞら谷津保育園に、“顔の見える関係性”を広げるために、誰もが立ち寄りやすい場としてパーゴラやベンチ、カウンターを設け、保育園と地域をつなぐ場を整備する。

【審査員講評】既存の保育園を改修し、地域に開くという先進的な取組であり、試行錯誤しながらチャレンジを続けてほしい。



裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



整備助成対象に選考された5つの提案

【シェアキッチンを備えた多世代交流拠点の整備】 二つ台みーとみーとPJ(保土ヶ谷区)

横浜国立大学の近傍にあり、地域のシンボルのような場所でもあった元精肉店の空き店舗を改修し、学習塾（本事業整備対象外）とシェアキッチンを備えた多世代交流拠点を併設した地域拠点を整備する。

【審査員講評】塾という子どもたちにとって大事な居場所の、空いている時間や空間を地域に開くことで、多世代交流を生み出す試みが良かった。



【懐かしい街の記憶を次世代へと繋ぐ拠点】 パレット境木ベース運営委員会(保土ヶ谷区)

地元で長年愛され惜しまれながら閉店した商店街の空き店舗を活用し、多世代が自由に通え、地域交流を楽しめるスペースやシェアキッチンとカフェを整備する。

【審査員講評】賑やかだった頃の街の記憶を、人がハブになり繋ぐことで、今後もメンバーを増やし、力強い動きになることを期待したい。



【熊野の森, 子どもの居場所プロジェクト】 熊野の森, 子どもの居場所プロジェクト実行委員会(港北区)

熊野神社市民の森に近接する個人住宅とその屋外空間を、子どもと子育て世代を中心とした、地域に開いたコミュニティスペース（地域最小の“公園”・“公民館”）とする。

【審査員講評】住宅街の中で周囲からどう見られているかを意識しながら場を作っており、住み開きのモデルになることを期待したい。



<参考:ヨコハマ市民まち普請事業>

令和7年度提案募集開始!【募集期間】2月12日(水)~5月30日(金)17時必着

①無料でまちづくりの専門家からアドバイスが受けられます!

3月31日(月)までに事前登録をされたグループには、提案書提出までの期間にまちづくりの専門家を市から派遣します。

②提案者向け見学バスツアーを開催します!

提案を検討されている方向けに、まち普請で整備された施設を見学するバスツアーを開催します。まち普請の先輩から、提案のヒントになる話をさせていただきます。

【開催日】3月9日(日)12時15分~16時40分(予定)

まち普請事業への応募、バスツアーへの参加を検討・希望される方は、下記担当までご連絡ください。

<担当連絡先>

都市整備局地域まちづくり課まち普請事業担当
[電話] 045-671-2679
[E-mail] tb-seibiteian@city.yokohama.lg.jp



まち普請事業
ウェブページ

まち普請



お問合せ先

都市整備局地域まちづくり担当課長 村瀬 亮二 Tel 045-671-2665



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷

